

寸鉄

25日に本宮を迎えた大阪天満宮の天神祭。5千発の花火が打ち上げられ、約105万人の見物客でにぎわった(大阪天満宮発表)。例年の人出は120〜130万人というから少なめだが、天神祭が終わって大阪の夏はこれからが本番▼ところで2年前(14年)の天神祭の本宮当日、臨時大阪市議会が開かれた▼同年7月23日、「大阪都」構想で大阪市を廃止して特別区を設置する「協定書」を特別区設置協議会(法定協)で、維新単独で議決。25日の臨時市議会では兵庫、公明、自民、民主系の4党派が「協定書」を無効と宣言する決議を可決した▼反対派を排除した法定協を正常化するため、府市両議会で過半数の議員が議会開催を要求しても、橋下市長(当時)と松井知事は地方自治法に反し招集を拒否。「協定書」議決は、維新の違法・脱法に市議会がノーを突き付けたのだった▼特別区は権限・財源を府に握られた「半人前の自治体」に過ぎないなど、「協定書」の問題点は噴出していた。府市両議会でも決された「協定書」が官邸の介入で復活。これを「オール大阪」の共同で否決したのが、昨年5月の住民投票だった▼8月末から大阪市が「総合区・特別区に関する意見募集・説明会」を開く。その資料に否決されて存在しない「協定書」や住民投票時のパンフレットの内容が「活用」されている。過去のことなど、まるで「なかったこと」のような顔をして。こんな、許せますか？